ver 3.1.0

歩行空間ネットワークデータ整備ツール取扱説明書 (標準ユーザー用)

2021年6月



目 次

1. データ整備ツールの概要	··· <u>3</u>	
2. 歩行空間ネットワークデータ		3. 施
2.1. データの新規作成・更新	··· <u>4</u>	3.3
2.1.1. データファイルの作成	…5	
2.1.2. データ追加	…6	
2.1.3. 図形修正	…10	
2.1.4. 属性編集	…11	
2.1.5. データ保存	…12	
2.1.6. データ更新	…13	
2.2. データ閲覧	··· <u>14</u>	3.2
2.2.1. データ閲覧	…15	
2.2.2. 色付けによるデータ閲覧	…16	
2.3. エクスポート、インポート	··· <u>17</u>	3.3
2.3.1. エクスポート	18	
2.3.2. インポート	…19	

3. 施設データ

3.1. データの新規作成・更新	… <u>20</u>
3.1.1. データファイルの作成	21
3.1.2. データ追加	22
3.1.3. 図形編集	23
3.1.4. 属性編集	…24
3.1.5. データ保存	…25
3.1.6. データ更新	…26
3.2. データ閲覧	··· <u>27</u>
3.2.1. データ閲覧	28
3.2.2. 色付けによるデータ閲覧	29
3.3. エクスポート、インポート	<u>30</u>
3.3.1. エクスポート	31
3.3.2. インポート	32

1. データ整備ツールの概要

データ整備ツールは、国土地理院の地図を背景に、歩行空間ネットワークデータ及び施設データ の入力を行うWebシステムです。 歩行空間ネットワークデータの図形(リンク・ノード)を入力の上、歩行経路上にあるバリア (段差、縦断勾配など)及び施設のバリアフリー情報を入力します。[※]



データ閲覧

 ※歩行空間ネットワークデータの仕様については、国土交通省「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案 (2018年3月版)」(https://www.mlit.go.jp/common/001244374.pdf)を参照ください。

2.1. データの新規作成・更新

歩行空間ネットワークデータ

道太坂之

2.1.1. データファイルの作成



2.1.2. データ追加

このページでは、地図上に点(ノード)と線(リンク)を地図上に入力する方法を説明する。

① 「+ データ追加」を選択 夕】東京都千代田区(国土交通省) ② 入力したい箇所をタップして点と線を引いていく ※データ追加モード時(点・線入力時)は地図を移動させる場合、 △データ保存 「※②」の十字キーでないと地図が移動できない事に注意 ※点を入力していくと、入力した順に線が結合されていきます。 のデータ追加 **人**図形修正 ③ 点・線の入力が完了したら、「確定する」を選択 2 屈性編集 ※最終点でダブルクリックしても確定になります $\times 2$ E139°45′01.3259″ (139.7503683°) 東京都千代田区霞が関ニ丁目 【試験データ】東京都千代田区(国土交通省 0.5781" (35.6751606°) 員/会 **两上休火**11 警察庁 データ追加モード O確定する *キャンセル 情報通信政策研究 総務省 销防庁 3 霞が関ニ丁 国土交通政策研究 運輸安全委員会 階層数 施設内外 ~ 第二霞ケ関郵便局 リンク 経路の構造 経路の種別 方向性 V 福目 外務省 縱断勾配 ¥ 2 段差 × 次ページ・情報項目入力作業へ⇒ 间地図 ♀空中写直 ♥現在地 50 m **1**2 (1)注读 M

■リンク1本の入力方法





2.1.2. データ追加



③ノード・リンクの情報入力が終了したら、「確定する」を選択

■既入力ノードに連結して新しいリンクを入力する方法



■既入カリンクを分割する方法



9

■作成中のデータに他のデータを取り込む方法



■編集中のデータに他のデータを取り込む方法





※他ユーザーアカウントが作成したネットワークデータを取り込む 場合は、一度使用したいデータをエクスポートしてから、再度自 分のIDでインポートすることで利用することができます。 ①取り込むデータを選択

取り込みたいデータを選択し、タップします。

(編集中データは赤色、取り込むために 選択したデータは緑色で表示)

②「取り込み」を選択

選択したデータのタブを開き、「取り 込み」をタップします。

③「取り込み」の確認

編集中のデータセットに取り込むか確認 メッセージが表示されます。OKボタンを タップします。

④取り込み完了

作成中のデータに他のデータが取り込ま れます。

取り込んだ元データもそのまま残ってい るので、削除するようにしてください。

2.1.3. 図形修正

「図形修正」は、既入力のノードの位置を移動することで、リンクの配置を変更します。不要なリ ンクがある場合は、2回タップして削除します。



※入力データを保存する場合、別途「データ保存」操作を行う必要があります。





データ追加、図形編集、属性編集をした後、「データ保存」をします。



2.1.6. データ更新(再編集)





2.2. データ閲覧

歩行空間ネットワークデータ

道玄坂之

2.2.1. データ閲覧

トップ画面で、既入力の図形(ノード、リンク)と属性情報を参照します。



「地図」ボタンをタップすると、背景地図に国土地理院淡色地図を表示。 「空中写真」ボタンをタップすると、背景地図に空中写真を表示(画面上のスケールバー、上から1~4の縮尺時)。 「現在地」ボタンをタップすると、端末が捉えた現在地を地図上に表示。

2.2.2. 色付けによるデータ閲覧

トップ画面で、既入力のリンク、ノードを属性情報別に色付け表示します。



2.3. エクスポート、インポート

歩行空間ネットワークデータ

道玄坂三一目

2.3.1. エクスポート



データ整備ツールで作成した歩行空間ネットワークデータを、CSV、GeoJSON、Shapefileいずれ かの形式でエクスポートします。



2.3.2. インポート



CSV、GeoJSON、Shapefile形式のデータをデータ整備ツールにインポートします。

「NWデータ」の「インポートファイル」を選択



②データ名の編集

※インポートは、「データ形式」に記載してある定義に 合わせて作成したデータを対象としています。



3.1.1. データファイルの作成

施設情報のデータ整備を行うためのデータファイルを作成します。「新規作成」をタップしデータ 名を入力します。





3.1.2. データ追加

「データ追加」は、施設の場所と属性情報(名称やトイレ情報など施設の整備状況)の入力を行います。



※入力データを保存する場合、別途「データ保存」操作を行う必要があります。(参照:3.1.5.データ保存)

3.1.3. 図形修正

「図形修正」は、既入力の施設の位置を移動する。または、不要な施設を2回タップして削除する 機能です。



※入力データを保存する場合、別途「データ保存」操作を行う必要があります。(参照:3.1.5. データ保存)

3.1.4. 属性編集

「属性編集」は、既入力の施設情報を修正する機能です。



※入力データを保存する場合、別途「データ保存」操作を行う必要があります。(参照:3.1.5. データ保存)





データ追加、図形修正、属性編集をした後、「データ保存」をします。



26

3.1.6. データ更新



保存済みデータの更新を行う場合、「トップ」画面から対象データを選択の上、更新のための操作 を行います。





3.2.1. データ閲覧

トップ画面で、既入力の施設情報を確認します。



3.2.2. 色付けによるデータ閲覧

トップ画面で、既入力のリンク、ノードを属性情報別に色付け表示します。





3.3.1. エクスポート



データ整備ツールで作成した施設データを、CSV、GeoJSON、Shapefileいずれかの形式でエクス ポートします。



3.3.2. インポート



CSV、GeoJSON、Shapefile形式のデータをデータ整備ツールにインポートします。

① 「施設データ」の「インポートファイル」を選択



②データ名の編集